

# 富士宮西ロータリークラブ 会報



責任心を持って、みんなが笑顔になれるために

国際ロータリークラブ第2620地区 2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ  
会長 今村 一徳 幹事 矢部 英樹



例会場より

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週 夜間  
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 ゲストハウス フォレストヒルズ内  
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

## NO. 21 通算 1474 回 2022. 1. 21 (金)

### 本日の予定

クラブ協議会

各統括委員会の上期活動報告

### ゲストビジターの紹介 副会長 矢部 英樹 君

ゲスト&ビジターは、ありません。

### 会長挨拶

会長 今村一徳 君

新年開けたと思えば、1月もすでに後半になってしまいました。本日は私の仕事柄、目のお話をさせていただきます。

人間には五つの感覚、視覚(目)・聴覚(耳)・嗅覚

(鼻)・味覚(舌)・触覚(皮膚)といわれています。そして、人間にはこの五つの感覚から情報を得て考え行動していますが、その情報の70%以上は視覚から得られていると言われています。そこで、視覚についてお話いたします。1メートルから遠くを遠方視力、1メートルから近くを近方視力といいます。そして視力は、何もなしでの状態での視力を裸眼視力、メガネやコンタクトを使用した状態の視力を矯正視力といいます。通常裸眼視力が悪くても、矯正視力が確かに見えていれば視力には問題ないと判定いたします。矯正が必要な視力には、近視、遠視、乱視、老視(いわば老眼)があり、これを補い視力補正をします。で



は、近視、遠視、乱視とは、近視も遠視も、ピントが合っていない状態です。乱視は物がブレて見えている状態です。老視は、遠方がしっかり見えている状態で近くが見えにくい状態です。また人間は両眼で見て立体や距離感を判断していますので、両眼の視力は均一でないと距離感が分かりづらかったりします。よく物にぶつかるような方は両眼視力の確認も必要です。片目ずつの見え方の確認はしてください。しかし、視力は矯正しても、目の疾患治療しても、視力回復ができない場合もあります。それは、脳に疾患が考れる時もあります。目はカメラで例えるとレンズですが、脳はフィルムの役目をしています。そのような疑いのある方は、加藤先生に相談してください。視力は生きていく上でとても大切です。最近少し見えにくいと思われる方は、早めのチェックをおすすめします。

### 幹事報告

幹事 矢部 英樹 君

別紙幹事報告参照

### 出席報告

	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	23	19	4	0	82.6%

欠席者：☆外木規之、☆細野芳男、渡辺弘光、加藤康雄、石川俊洋、石田道彦

【備考】 仲亀秀樹君は、休会中  
☆印は、出席免除者

【会報委員会】 委員長：伊原謙治 委員：仲亀秀樹 片岡博昌 石田道彦 近藤憲司 斉藤邦男

## スマイルボックス

- 何も変わることなく、80歳になりました  
片岡博昌君
- 本日、各統括委員長、宜しくお願いします  
矢部英樹君
- あれよというまに、68歳になりました。今年は  
頭を整理して前進したいと思います  
岡村吉彦君
- 大寒の入りです。朝がっらいです。  
若林眞治君

## お祝い・記念日

- 会員誕生日 片岡博昌 君 (S17. 1. 1)
- 岡村吉彦 君 (S29. 1. 22)
- 結婚記念日 赤池次郎 君 (S499. 1. 20)



## クラブ協議会

### 各統括委員長の上期活動報告

- ① 親睦・出席・会報 大谷裕也君  
毎例会ごとに会報の作成、配布、出席率の報告、お祝いの発表、MAILの発表を行いました。コロナ禍ではありましたがなんとか昨年12月17日には忘年会を企画・開催できました。
- ② 会員増強・研修 後藤憲治君  
会員増強は、増強のみならず退会防止も重点事業であり、長期欠席者も少なく退会者ゼロである。増強協議会は7月と12月に行った。3グループに分けて推薦入会を狙っているが、現時点では13名の名前が上がってきており、コロナ禍ではあるが接触を図っていきたい。
- ③ 奉仕プロジェクト 竹田浩富君  
職業奉仕活動の一つとしての会社訪問は、コロナ感染の為行わないと決めました。また、9月に予定されていた市長卓話も、緊急事態宣言中で中止、例会も中止になりました。国際奉仕活動のエンドポリオ撲滅については特に活動

は行いませんでした。社会活動の一つとしての、ミツバツツジの植樹とメンテナンスを10月に行い、21名の参加で作業しました。青少年奉仕活動としては、富士宮市PTA連絡協議会への本の寄贈を11月に市役所で9名の会員参加で寄贈式を行いました。

- ④ 公共イメージ 岡村吉彦君  
コロナ禍で活動が制限される中、会長がデジタルを活用しての活性化を図る方針を示した。Zoomやオンラインを利用するため、外部の専門家に2回にわたりデモをお願いした。また現在、より魅力ある当クラブのホームページの改訂を行っている。デジタル利用によりクラブ細則の変更が必要なため、委員会を立ち上げた。また、ロータリー川柳の積極的な参加をお願いします。

- ⑤ R財団・米山統括委員会 渡邊奈津実さん  
ロータリー財団委員会の活動としては、7月にグランシップでセミナーが行われ、オンラインで参加致しました。財団寄付は、一人18,000円ずつ徴収し、20名分の36万円を納めることが出来ました。米山委員会の活動としては、8月にセミナーが行われ、Zoomで参加致しました。米山寄付は、会計より一人、16,000円ずつ計上していただき、41万6千円を納めることが出来ました。竹田会員が第2回功労者、今村会長が第1回功労者として認定されました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

- ⑥ 会場監査 宇佐美量三君  
S.A.Aの業務は簡単に言えば会の運営について執行部(会長、幹事等)の一機関として、スムーズに事が進むよう努力する事である。どうしてもマンネリ化するがそれは当たり前前のことであり、特段の事がなかったかのごとく、平穩に会が終始すればそれで良しとする。しかし、他クラブの運営手順も知っておくことも重要なこと。一度勉強に出向くことも必要か。